

◆ 列状間伐と高性能林業機械による林業の低コスト化

茨城森林管理署（茨城県）、群馬森林管理署（群馬県）

① 茨城森林管理署（茨城県）の取組

【取組概要】

列状間伐と高性能林業機械の組み合わせによる作業システムの分析・評価し、民有林への普及を目指す。

【取組状況】

＜作業システムの評価、分析＞

- 列状間伐に関する、既存の研究成果の収集。同時に、間伐実績を有する請負事業体4社に定性間伐、列状間伐別に生産性に関するアンケート調査を実施。

その結果、当署において列状間伐と高性能林業機械の組み合わせは、定性間伐に比べて生産性が高く、搬出の条件によっては間伐で収入を得られることが可能。

＜作業システムの普及活動＞

- 調査結果を、市町村、森林組合、林業事業体から約150名が参加する研修会で発表。

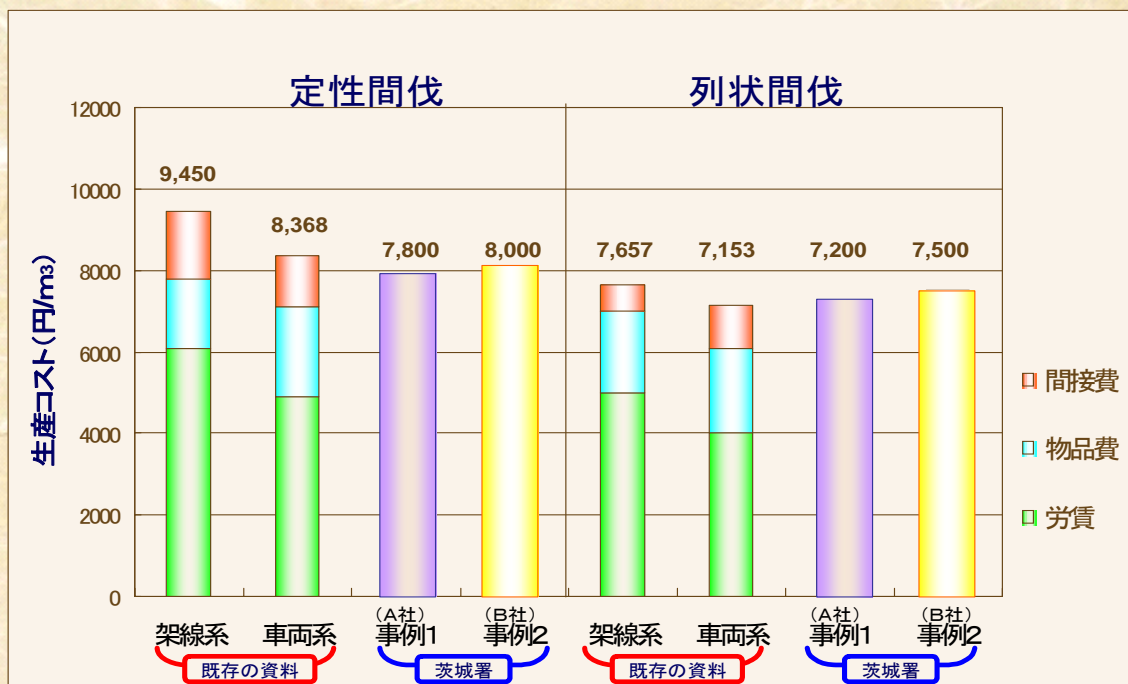


【今後の予定】

今後、会議、研修会等の様々な場で成果を発表していく。

研修会の様子

間伐方法別の生産コスト



平成19年度 素材生産費等調査報告書(林野庁)

間伐方法別の生産コスト

② 群馬森林管理署（群馬県）の取組

【取組概要】

列状間伐実施箇所の見学会等を通じて、間伐効果、安全性、保残木の保全等を具体的に示し、民有林への普及を目指す。

【取組状況】

＜民有林関係者等の視察等受け入れ状況＞

H22年度、列状間伐の具体例となる、102haの間伐を実施。

○森林農地整備センターの視察

・実施時期 H22年 7月

○神奈川県小田原市の林業関係者

・実施時期 H22年11月

・参加人数 約30名



【今後の予定】

見学会、視察を随時受け入れ、民有林への普及を推進。

素材生産請負コスト10,000円/m³以下への低減を目指す。

◆ 低コスト作業路の作設技術の普及

群馬森林管理署（群馬県）

【取組概要】

事業ベースで作設した低コスト作業路について随時視察を受け入れ、地域の森林・林業関係者への作設技術の普及を進める。

【取組状況】

＜民間企業等の視察等受け入れ状況＞

○東京大学教授、院生の視察

○住友林業担当者の視察

○森林農地整備センターの視察

・実施 H22年7月

○林業関係者現地視察

・実施 H22年11月

・参加者 約30名



低コスト路網

【今後の予定】

近日策定された森林作業道作設指針に沿って、低コスト作業路作設を進める予定。